





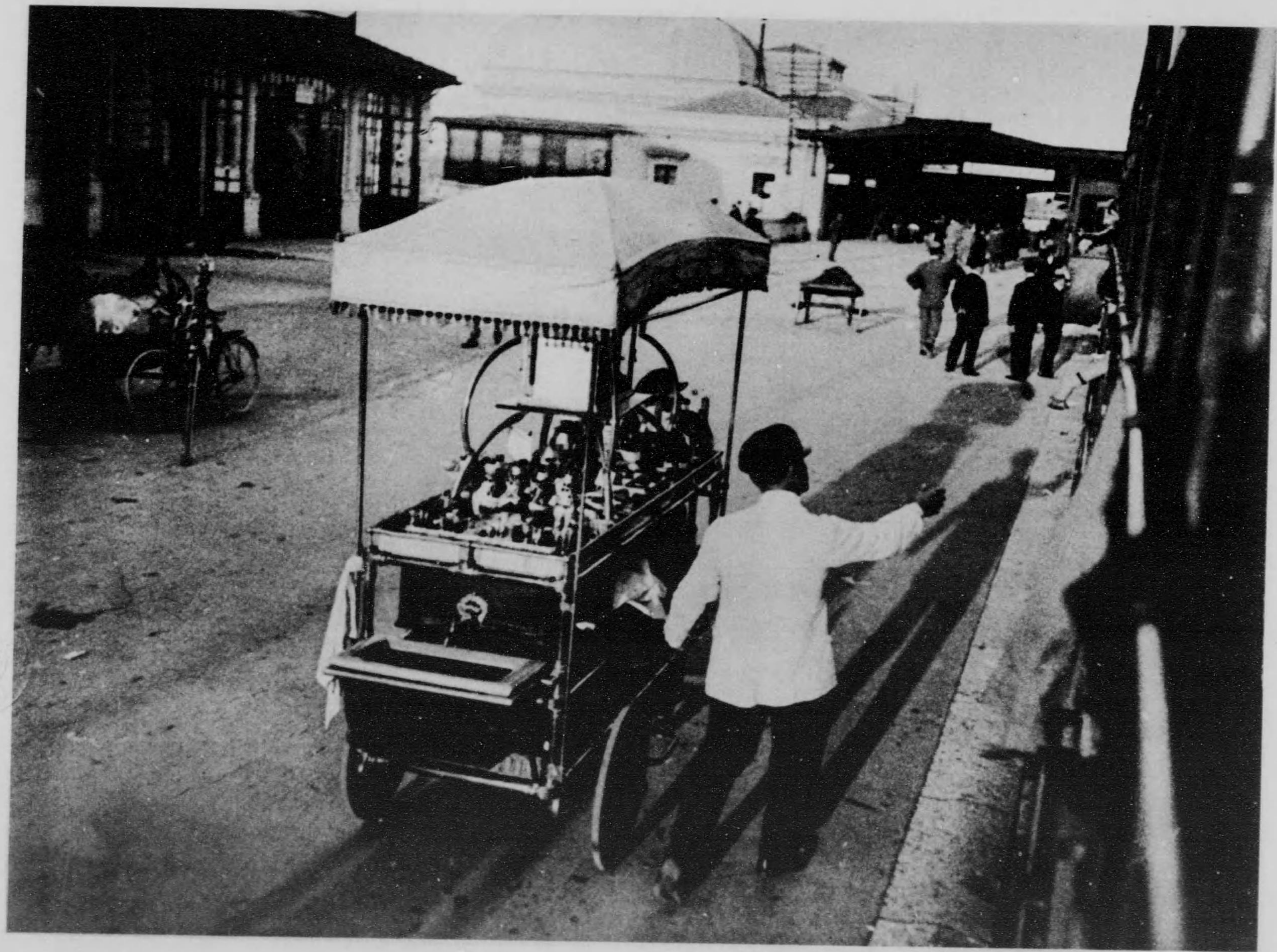
### ステーションの物売り

48

汽車がステーションに着くと物売りが出てくることはどこの國でも同じである。然し我が日本で見るやうに威勢のよい袷被姿でブラットフォームを駆け廻るやうなこともなく、又輕口調で「御辨當——ッ」おすし——ッ」と歌ふやうなこともなく、只洋食屋のボーイのやうな清潔な服装で、寫眞の如き奇麗な車を押しながら、せかしい様子もなく悠つたりとして窓の前を通るばかりである。日本人には些か悠長過ぎるやうに感じられるが、此のやうな場合にも彼の地の人々の落ち着いた氣分が現はれて居る。此の寫眞は伊太利のヴェロナ驛で撮影したものである。

*Le vendeur d'une gare de l'Italie.*







### ポンペー居酒屋の跡

49

紀元一世紀頃、ヴェスビオス山の噴火で深く地中に埋もれたまゝ、千七百年の間沈黙の墓となつて経過したポンペーの市街は或る日農夫の鋤に觸れた屋根をたどつて掘り出される事となつた。古代の街は少しも形を崩す事なく、壁畫彫刻もそのまゝ残つて居る。奇怪な構造の浴場、居酒屋、遊女屋などが多い。浴場と云ふよりは享樂場と云ひたい。風呂に浸たり、酒に酔ひ、女にたわむる享樂の街であつた事は疑はれない。古今東西を問はず酒池肉林の享樂は斷えないものではあるが、ポンペーの當時は特に文化の爛熟し切つた有様が發掘されるまゝに如實に窺はれるのである。寫眞はポンペー廢墟の居酒屋の跡で、酒壺の圍はりは磨いた大理石で張りつめてある。彼のエドワードリットンの小説ポンペー最後の日に現はるる居酒屋もかうした處であつたらうか？。

*Le trace de la guinguette déterrée dans la vieille ville de Pompé.*







## 巴里のカフェー

50

此の寫眞で見るやうな巴里のカフェーは單純な喫茶店であつて、巴里の市内各所に存在し殊に般賑な通りには軒を並べてゐる。西洋手品か曲馬などで見るやうな暖簾を下げて、往來に面した軒下には鼠色や赤で異様に塗りたてた籐椅子を雜段のやうに並べてある。之をカフェーのテラスと稱してゐるが、日當りのよい春の日などには此のテラスに陣取つて道行く人を眺めながら一杯の茶を嘗めるが如く、暖るが如くして長時間を此所で過す。寒い冬の日なども寫眞に見るやうなストーヴを焚きながら寒いのを我慢してやはり此所に寛つたりと構えてゐる。我々に眞似の出來ない彼等の喫茶趣味とでも言はふか。黒いチョッキのやうな短い上衣に腰巻のやうな前垂れをかけたのが給仕である。暖簾に書いてある *Aux 2 Magots* は此の家の屋號であつて *Magots* は猿とか人形とかいふ意味、*Aux* に何々屋の意である猿屋であるか、人形屋であるかは此給仕にでも聞かなければ判らない。

*Le café de Paris.*

*La terrasse et le garçon du café.*







## 巴里の嫁姆

51

歐洲各國には乳兒の哺育を専門とする職業婦人がある。之は一定の試験に及第し免狀を有つてゐなければならぬので、幼兒哺育については何から何まで心得てゐる。

中流以上の家庭では之等の嫁姆を雇ひ赤ん坊の世話は一切任せつ切りで日本の婦人が熱烈なる母性愛を傾けて自ら育てるのとは大部ちがつて居る。それは彼地の家庭の有様とか婦人の職業など、我國とは余程異つたものがある爲めでもあらうが、又、西洋の婦人は大抵子供を生んでも母乳が出ないので仕方なく牛乳で育てる關係上、嫁姆に任せつ切りにして居る事が出来るからであらう。此の寫眞は巴里の Avenue d'Iena の側にある Place des Etats Unis の公園の日當りのいゝ場所で子供を遊ばして居る圖で、右端の嫁姆のやうに白線の入つた黒い尾長頭巾を被り各國とも同じやうな特異の服裝をして居る。寫眞に見る他の婦人も皆嫁姆であるが、制帽を避けて普通の帽子を被つて居る。

*Les nourrices de Paris.*

*Les nourrices prennent le soin des enfants au parc.*

*A la place des Etats Unis, Paris.*







## 凱旋門の上から

52

こゝは巴里の名所エトアールの廣場である。その中央に大奈翁の建設した凱旋門が巍然として聳えて居る。二百數十の薄間い階段を登つて高さ三十間もある屋上に立つと大巴里はパノラマの如く眼下に展開する。廣場から放線狀に走つて居る十二の大道路から集つて來る車馬は凱旋門を中心として鏡の如き路面を獨樂鼠のやうに走つてゐる。眼を轉すればブロンヌの森、エツフェル塔、シャンゼリゼーの大路、ブライスコルド、ルーブル等巴里の名所は一望の中に收められる。此等の眺望に接する時大佛蘭西の光輝ある歴史、奈翁の偉業……等遊子の心はそぞろ回顧の情に堪えない。

*Une partie de la Place de l'Etoile prise du haut de l'Arc du  
Triomphe de Paris.*







## 巴里の花屋

53

凱旋門で有名なエトアールの廣場には此寫眞の如き花屋がこゝかしこに店を並べてゐて、地味な純フランス風の服装をした女が、季節くゝの切花を賣つてゐる。時には勳章を佩びた癡兵らしい男が娘と一緒に店先きに立つて直ぐ前の凱旋門の下に靜かに眠れる無名の戦士の墓前に手向ける草花を鬻いでゐる。それは戦後のフランスに相應しい情景である。

*Le marchand de fleurs de Paris.*

*Le Kiosque du marchand de fleurs à la place de l'Etoile de Paris.*







## 巴里の焼栗屋

54

巴里の秋は先づマロニエ、プラタメなどの街路樹に訪れて来る。そして黄色になつた大きな葉ががさ／＼と落ちる頃になると巴里名物の焼栗屋を見かけるやうになる。町の角橋のたもとなどに汚ない男や、婆さんが大きな平釜の如きものを据付けて栗を焙つて居る有様は華かな巴里の光景と對照して頗る興味深いものがある。此の寫眞はセーヌ河に架けられた橋 Pont d'Iénaのたもとに店を出して居る焼栗屋の婆さん。

*Le marchand de marrons de Paris.*

*Une vieille femme vendant des marrons près du pont d'Iéna  
sous le tour d'Eiffel.*







## 佛蘭西パン

55

正面はパン屋で右隣りが洋服屋、パン屋の店先きに立つてゐる婦人の手にせる榎木棒様のものはフランス人が常食とするパンであつて、日本の棒麩のやうな形をしてゐる。正面の *Boulangerie* はパン屋といふ意味。

*La boulangerie de France.*

*Une fraise devant la boulangerie, avec le pain qu'elle vient d'acheter.*







## ヴェルサイユ宮殿

56

巴里の近郊にあるヴェルサイユ宮殿は彼のルイ十四世によつて造營せられ、壯嚴華麗を極めたものであつたが、今日では建物の各所に損傷を生じて昔日の偉はあるまいが而かも尙當代第一であらう。有名な鏡の間は四壁を鏡張りにして坐して室外の林苑に接することが出来る。大奈翁も此處を宮殿として居た。普佛戦争に勝つた獨乙軍は勝に乗じて此宮殿でウキルヘルム一世の獨乙皇帝即位の式を擧げたのであつた。然し星移つて五十年の後彼の獨乙いちめのヴェルサイユ條約が矢張ここで締結されたのは有爲轉變の感を抱かしめる。

宏壯なる庭苑は巴里人の散策場となつてゐる。此の寫眞は日曜日を幸ひ空色服に大黒頭巾のフランスの兵士が腕に怪げな女を抱いて歩いてゐる處である。

*Le château de Versailles et son Parc.*

*Les soldats français en permission de dimanche.*







## 巴里無名戦士の墓

57

こゝは巴里凱旋門の直下路面の中央には大戦に斃れた無名の戦士の墓が相  
されて在つて香華の絶ゆる時がない。道行く人は皆帽子を取つて黙禮をする。  
この場所でこの敬虔な雰囲気に含まれながら大革命の當時から今日まで、斷  
えまなき戦争に疲れ果てた佛蘭西を想ふて轉た同情に堪えないものがあつ  
た。

壁に書かれた文字は奈翁の戦つた戦場の名である。

*Le tombeau de soldat inconnu sous l'arc du triomphe a  
Paris.*







## 人になつかしむ雀 (一)

58

ヨーロッパの到る所で見える雀はよく人に馴れてゐて、公園の芝生などで年寄りや子供等に親んでゐる光景は屢々見受けられる。

巴里の名物として『雀の爺さん』といふのがある。その爺さんは空飛ぶ雀を自由自在に呼び集め、掌の上などでいろいろの藝當をさせるのである。

此の寫眞は『雀の爺さん』ではないが、巴里のトロカデロ公園で閑人がパンを粉に切つて投げ與へながら雀を自分達の足もとに集めてゐる所で、日本の雀のやうに、人さへ見ればパツと飛び去るのとは違つて、却つて餌でも求めるかのやうに人に近づいて来る。それは人が決して自分に危害を加へるものではなく、寧ろ可愛がつてくれると言ふことを雀はよく知つてゐるからだ。

*Les moineaux amis des hommes.*

*Les flâneurs donnent aux moineaux de petits morceaux du pain.*

*Au Parc de Trocadéro, Paris*







## マルセイユの郊外

59

寫眞はマルセイユ郊外から望んだ地中海である。寫眞の中央より稍左方によつて見ゆる小島はデューマの小説モントクリイストで有名な牢獄のあるシャトウデイフである。小説の主人公エドモンダンテが破獄をして沖を通る船に泳ぎついたといふのも或は此邊の海でもあらうか。郵船會社の船は此島の側をかすめて入港するが、あの白聖丘上に立つて金色に輝いてゐる聖母マリアの像と共に此の島はマルセイユに旅した者に忘れがたい印象を残す。

### La banlieu de Marseille.

La vue de la mer Méditerranée prise d'une colline de la banlieu de Marseille, avec la petite île de château d'If à main gauche.









## 佛蘭西の漁師

60

日本で漁師と言へば向ふ鉢巻に揮一つで、懸け聲勇しく艦を漕ぐのであるが、西洋の漁師にはその威勢のよい姿は見られない。写真はマルセイユの海に網を洩く漁師で、洋服長靴姿で重くるしいボート型の小舟をオールで漕いでゐる。漁れた魚なども我々の餘り見なれない種類のものばかりである。

*Les pêcheurs de France.*

*Les pêcheurs qui traînent les filets dans la mer de Marseille.*







## 巖窟王の牢獄

61

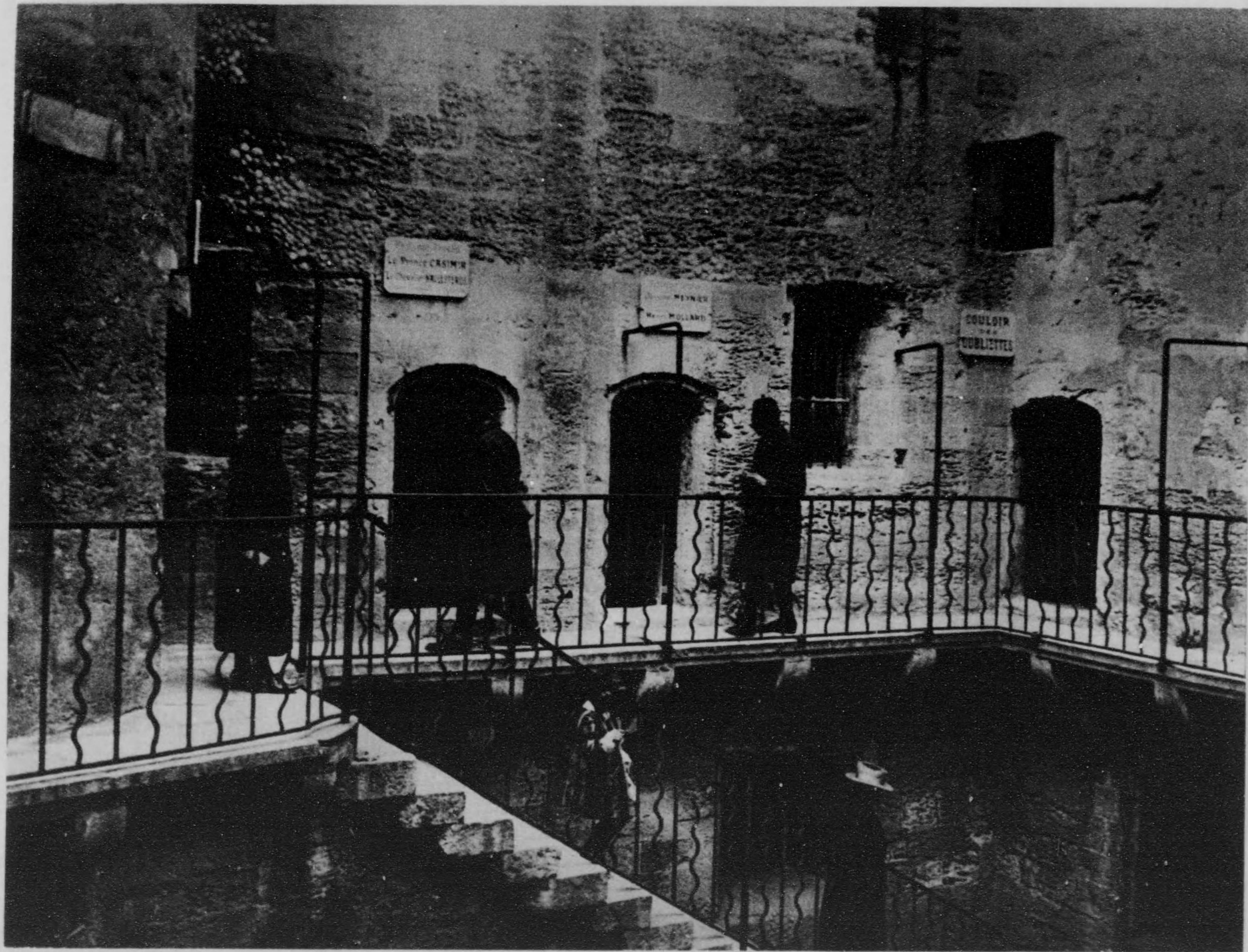
ヂュマの小説で世界に喧傳されて居る巖窟王の牢獄である。地中海に面した南佛マルセイユ港の港口に見ゆるシャトゥヴィンといふ小さい島に今も尙現存して居て此地に遊ぶもの見物場所となつて居る。

*Le prison du Comte de Monte-Cristo.*

*Le prison du Comte de Monte-Cristo, du roman d'Alexandre*

*Dumas se trouve encore au château d'If à l'entrée du port de  
Marseille.*







### マルセーユの貝賣り

62

此處はマルセーユの海岸に近い汚ない横町である。夫婦の出して居る屋臺店は土地名物の貝賣で、店には汚ない牡蠣や、雲丹などが並べてある。マルセーユの港近くの街々にはかうした貝屋の店を多く見受ける。客はこんな屋臺店の前に立つて、買った貝の殻を剥きレモンの汁を絞にかけて生のまゝ食べるのである。佛蘭西の様な文明國でもこんな不衛生な、不氣味な食ひ物があるかと思ふと一寸ゾツとする。

時には美しく装つた婦人が棘深い生まの雲丹の殻から赤い腹わたを啜つて居るのを見かける事もあるが、蛇喰ふ雉の感がして如何にも不氣味な思ひがする。

*Le chariot de marchand de coquillages dans la petite rue  
sale près du quai de Marseille.*







## 汚ない人々

63

西洋とさへ云へば立派とか、奇麗とか高尚とか云ふやうな事を直ぐに連想するが實際を見ると必ずしもそうではない。乞食の多いことなども決して日本に劣るまい。無産者に對してブルジョアの寥々たることは何所でも同じである。

寫眞はマルセーユの海岸に於ける汚ない人々の群で一日何もする事なく公園のベンチに倚りかかつて暮して居る。道行く人の投げ棄てた煙草の吸殻などを拾つて吹ふやうな連中も少なくない。

*Un groupe des gens malpropres au quai de Marseille.*









マルセイユの釣橋

64

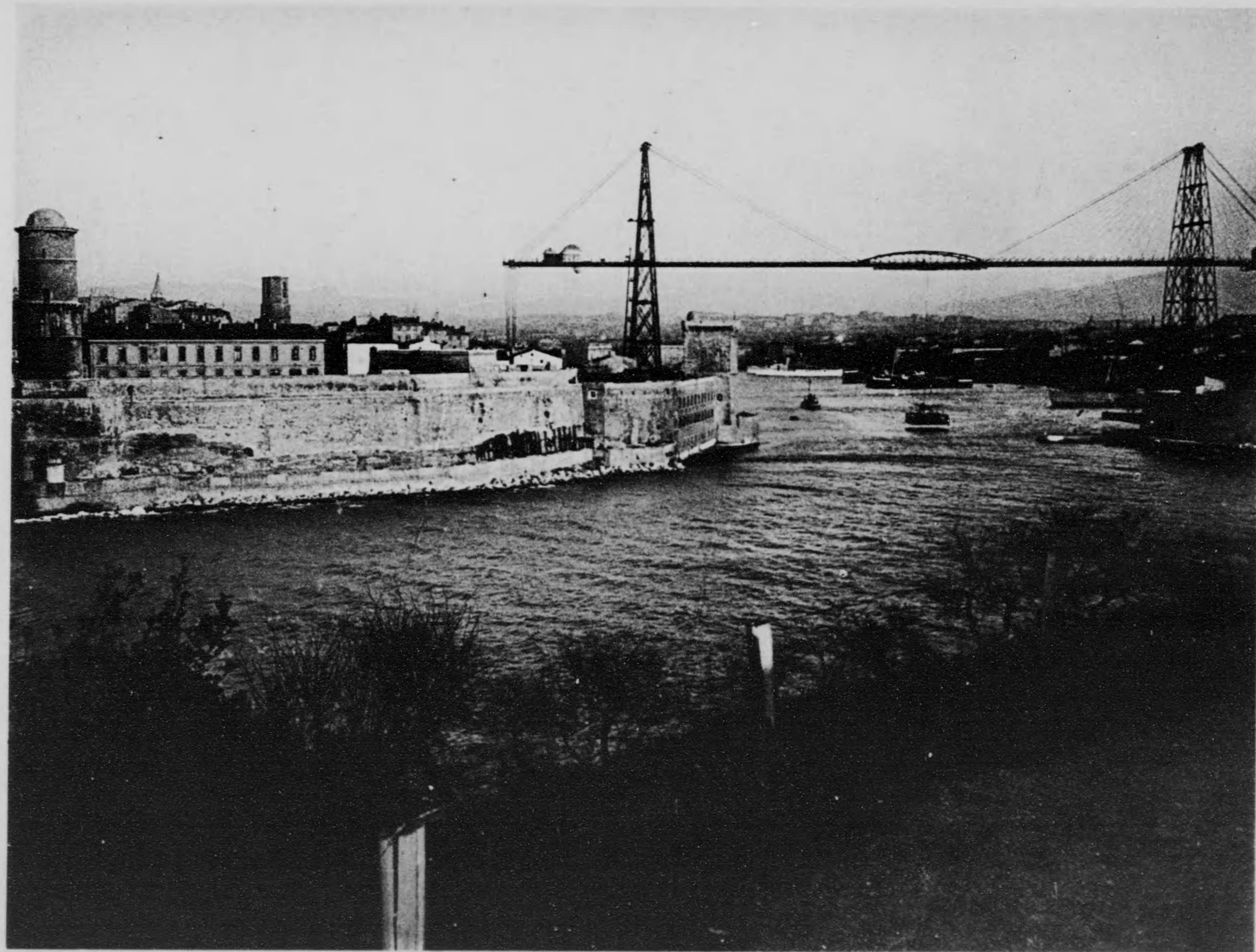
マルセイユの町から海の方を眺める時、虹の如きブリツヂの中天に懸つてゐるのを見出すであらう。それは舊築港の入口に架けられた釣橋であつて、馬車自動車など數臺を一纏めにして對岸に運ぶためである。

此の附近はナポレオン時代の城塞で、今日は兵營などがある。此寫眞はその丘上の殖民地軍醫學校の庭から撮影したものである。

Le pont à transbordeur de Marseille.

Le pont à transbordeur est bâti à l'entrée du vieux port de Marseille.







## ニースの海岸

65

ニースは、地中海沿岸の小都市で、隣接のモナコ王國と共に公開賭博場の在ることを以て有名である。幾多のカシノ(遊戯場)があつて其中で天下御免の博奕(ルーレ)が行れて居る。圖はニースの海岸であつて、海中に建てられた右側の大建築物がカシノである。

ルーレは日本の玉轉しに似た方法で、的れば二倍乃至三十二倍になるといふ仲々ぼろい方法である。運命を一か八かに決する手合が博奕台に吸ひ付いて轉々と轉がる玉の行衛を凝視てゐる光景は寧ろ悽慘である。喜びの神、悲しみの神は此建物の中を彷徨して任意に出入の客を掴むであらう。此の市には「打ち」と共に「飲み」「買ひ」の諸設備まで遺憾なく備へられ、刹那的享樂に陶醉するやうに出來て居て、歐洲否世界の歡樂郷である。然し亦一方悲しみの神に捉はれて此のアジュールの海に身を投じ海底の藻屑と消ゆる者も少くない。歐洲人の個性の半面を最も露骨に觀察しやうと思ふならば南佛ニースを訪れよと言ひたい。

*La côte de Nice de France.*

*La vue de la côte de Nice. Le grand bâtiment à droite est son casino.*







## 佛蘭西ニースの公園

66

寫眞はニース市の公園である。ニースは我が北海道の小樽と殆ど緯度を同  
うするが海流の關係で非常に温かで、嚴寒の時節でも寫眞に見る様に椰子、サ  
ボテン等の熱帶植物が繁茂して如何にも南國らしく、陰鬱な北歐の冬と比べ  
る時、自然の恵みにも何せこんな差別があるのであらうかと考へさせられ  
る。紫外線に富んだ南歐地中海の沿岸は空も海も透き通つた紺碧の色を湛  
へて眞に南の明るさを感じられ、歐洲人の歡樂郷として申分がない。此大砲  
は曾ては歐洲戰場に於て幾多佛軍の戦士を殪した獨軍の重砲であつたが、今  
は公園の飾り物となつて哀れを止めてゐる。  
ベンチに腰をかけてゐる人達は何を瞑想してゐるのであらう、カジノに轉が  
る玉の行衛か、否恐らくは只他愛もなく紫外線に富んだ日光を浴びて快い温  
さに浸つてゐるのであらう。

*Les promeneurs dans le parc de Nice.*







## ニースの薬局

67

南佛ニース市の薬局である。ニースは歐洲の歡樂地として風光明眉の地であるが、此の薬局も何となく此町にふさわしい明るさがある。

*Une pharmacie de Nice.*







## リオンの街

68

佛蘭西第二の都であり且つ絹織物の産地として最も有名なリオンは日本の最も大切な生糸の得意先である。此土地の絹織物は丁度京都の西陣織の様に半ば家庭工業で行はれて居る。町としての感じも京都に似たところがある。ロヌ、ソーヌの兩河が市を貫いて水運の便を與へて居るが、此河のために斷えず霧に覆はれ、ロンドンと共に霧の都の別名もある。寫眞はリオンにある日本の領事館で正面建物の四階目においてある。

*Le consulat du Japon à Lyon.*







### ヴェルダンの子供

69

歐洲大戦で有名なヴェルダンの戦跡は今なほ大戦の惨劇をそのまま物語つて居る。此寫眞は戦跡を訪れた著者の一行が同要塞のポアールブルの村落にいた時見慣れぬエトランジエ(異國人)を取り圍んで奇異の眼を向けて居る同村の子供等である。大戦當時幼児であつた彼れ等は母親の懷に抱かれて遠く戦禍を避けて居たであらう。此附近の村落は全部破壊し盡されて未だに形ばかりのバラック住ひをして居る。戦争の惨禍をさまざまと見せつけられて何時の世にか世界恒久の平和が到来しうるものであらうと低徊去るに忍びないものがあつた。

*Des gamins de Poivres, village près du fort de Verdun. Ils regardent étonnamment des étrangers.*







## ブライークの舊市廳と時計

70

此處はブライーク市の Staroměstské náměstí と云ふ舊い街路である。そこには六百年の歴史を有する舊市廳があつてその古色蒼然たる建物の一角には寫眞の如き奇妙な恰好の時計がある。千四百九十年頃に製作せられたもので時計と云ふよりは天文計と云ひたい。

二十四時の時を示すばかりでなく太陽及び月の運行や、四季の星曆などを示し時刻／＼には鶏が羽ばたきをして鳴き、妙な形の人形が鐘を打つやうな仕掛けになつて居る。

内部は一クロローネの料金をとつて説明をして呉れる。此時計臺の前にはハインツと云ふ時計屋があつて此の人に頼めば時計について詳しい説明をきかして呉れる。

Das alte Rathaus Prags und die berühmte astronomische Uhr.

Das Rathaus bildet die Hauptzierde des Platzes "Staroměstské náměstí." Unter Wladislaw II (1471-1516) wurde die Südfrost geschaffen und gegen 1490 die berühmte astronomische Uhr verfertigt. Diese Uhr liegt an der Südseite des Turms. Sie zeigt und schlägt nicht nur die 24 Stunden, sondern auch die Läufe der Sonne und des Mondes u. s. w.







## プラーグの市街

71

舊埃洪帝國の寶庫であつたボヘミヤは今は看板を塗り變へてチエツコスロ  
ーワキア國となり、大戰後の新興國として將來最も望を囑されて居る。ボヘ  
ミヤの舊都プラーグは今はその新興國の首都となつて居るが市街そのもの  
は如何にも古色蒼然たるものである。然し新興の氣運は街の隅々までもみ  
なぎり溢れて何となく頼もしい。

寫眞はプラーグの最も繁華な街路 *Václavské náměstí* であつて彼地在留邦人  
間に銀座と畧稱されて居る。正面突當りは國立博物館である。

*Václavské náměstí*, früher Wenzelplatz genannt, ist die grösste  
Strasse Prags und bildet eine beliebte Promenade der Prager.

In oberen Teile der Strasse liegen das National-Museum und  
des Wenzelsmonument.







## プラーグの御城

72

プラーグの市街を貫くモルダウの流れに架したカール橋 *Karlův Most* はボヘミヤの古都に適しい巨大な石橋である。橋の彼方丘の上には是亦古き都を偲ぶ異様な建物が聳へて居る。それは昔の御城で彼地では *Hradschin* と呼んで居る。往古プラーグの市街は此城を中心として建設されたものである。寫眞は御城の廣場で、前面に見ゆる建物の奥の方には現大統領マサリック博士の官邸などがある。

此の御城はプラーグを訪るゝものゝ見のがしてならないもので、幾多の歴史的資料は此所に集められて訪ふ者をしてボヘミヤの過ぎ來し路を偲ばせる。

Der Hradschin ist der Burgbezirk, der sich über der Kleinseite  
am linken Moldau-Ufer erhebt.

Er bildet ein Hauptziel aller Fremden, die Praha besuchen.

Der Sage nach soll Libuscha auf dem Hradschin den ersten  
Grund zu Praha gelegt haben.









## プラーグノ秋の見本市

73 .

プラーグで毎年春秋二回に開かれる商品の見本市は獨逸のライプツヒ市の夫れと並んで歐大陸の商品界に於ける重要な年中行事となつて居る。製造元問屋小賣屋などが大陸の各國から集まつて取引をする。最近東京市の商工獎勵館で催した見本市も將來はこのやうに發達させたなら生産者販賣者消費者にとつてどれだけか便利であらう。寫眞はプラーグに開かれた秋の見本市で正面の大きく *Bas* と書いた看板は製靴會社の看板である。

### Prager Herbstmesse.

Jährlich zwei Messen, die Frühjahrs- und die Herbstmesse, werden veranstaltet in Prag. Die Erzeuger und Verbraucher, Käufer und Verkäufer aus allen Ländern zur Anknüpfung von Geschäftsverbindungen hier vereinen.







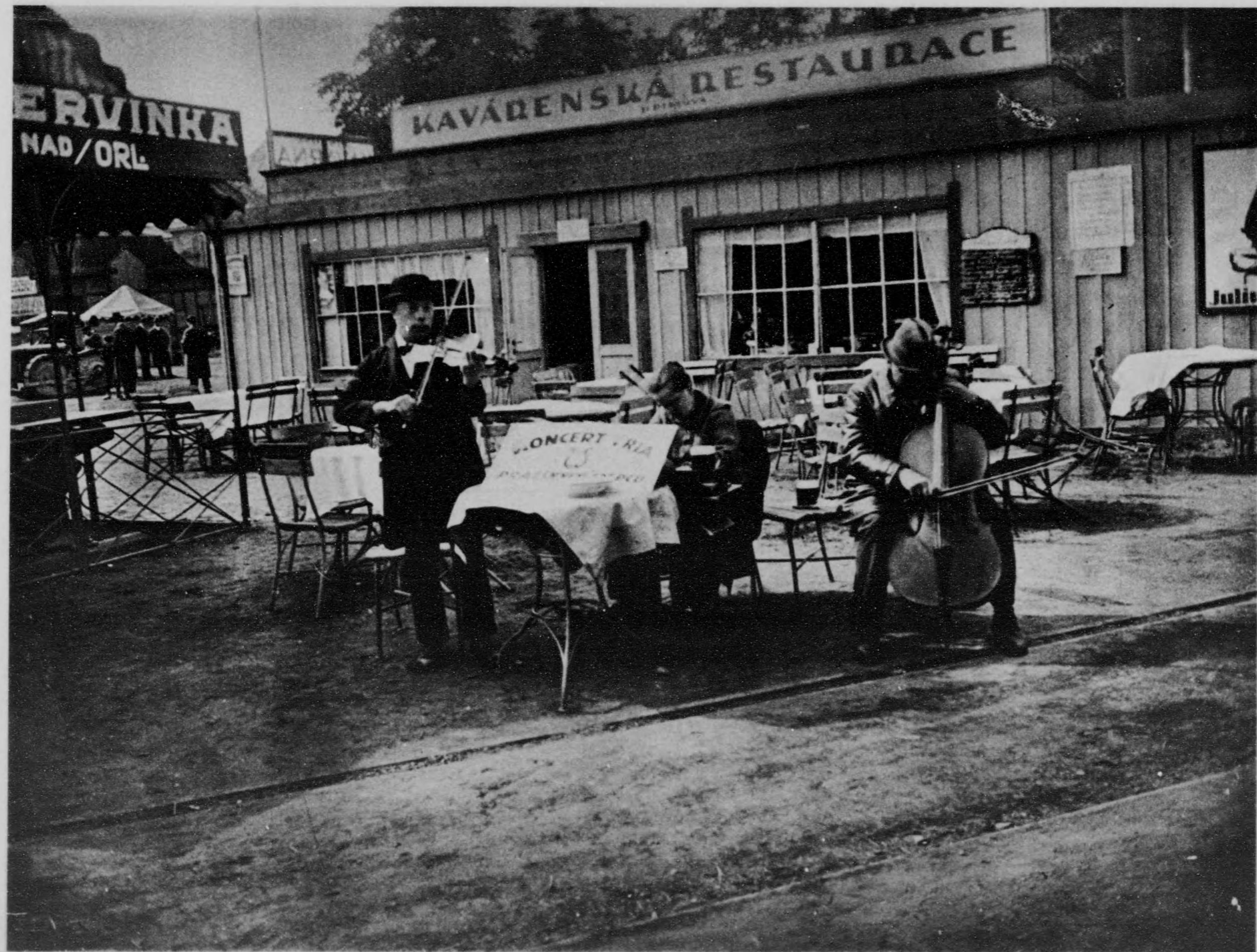
### チエツクの法界屋

74

これはボヘミヤの音楽家であると申せば聞こいがよいが實は我が國の法界屋の様なものである。國が違ふだけに其身形や道具なども異つて居る。汚ないながら山高にモーニングを着けて、奏する曲は御粗末ながらボヘミヤの樂である。こうして料理屋などを廻り歩いてそこばくの寄謝を乞ふてその日々を過して居る様は我が國の法界屋と同じである。

*Keine Truppe tschechischer Bettelmusikanten.*







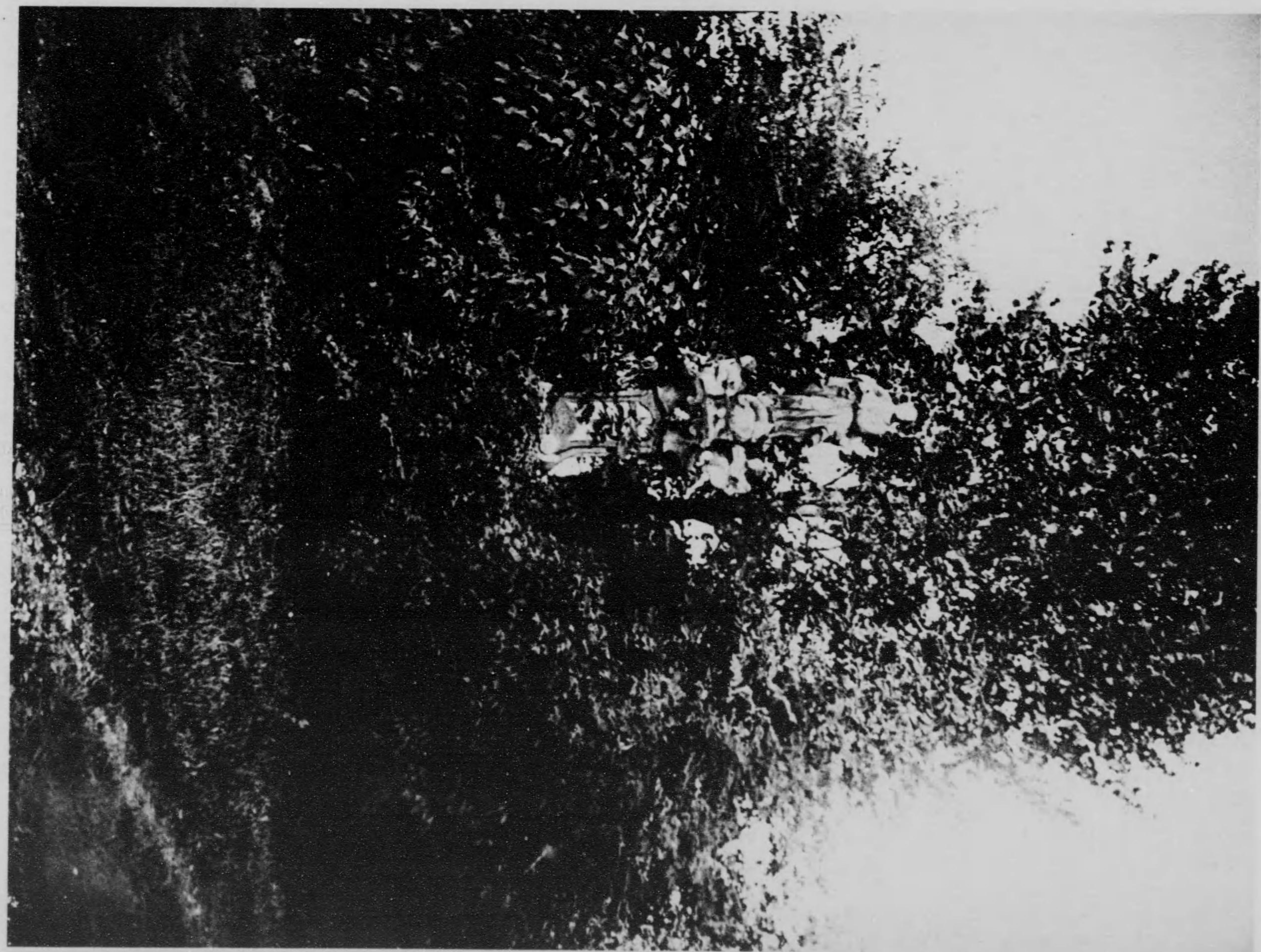
## マリヤの像

75

日本の田舎道に地藏様や庚申堂などがある様に西洋の田舎にもそれに似たものを見られる。キリスト教國である彼地には地藏様の姿は見られないが、その代りに聖母マリヤの像などが多く建てられて居る。此寫眞はブラーグより三十里ばかり入つたボヘミヤの田舎の村で見かけたもので、像の前にはさゝやかな手造りの花輪や蠟燭などが手向けられて居る。我が國ならば兩手を合せておがむのだが彼地の人は大地に片足を膝まづいて胸に十字を切る。野良に働く草刈女などが何をマリヤに願掛けるやら頻りと祈を捧げて居る様は西洋の田舎らしい畫面である。國を異にすればこんな細かな所まで相異なるものかと思はれた。

*La statue de Notre Dâme au bord du chemin dans une  
campagne de Tchécoslovaquie.*







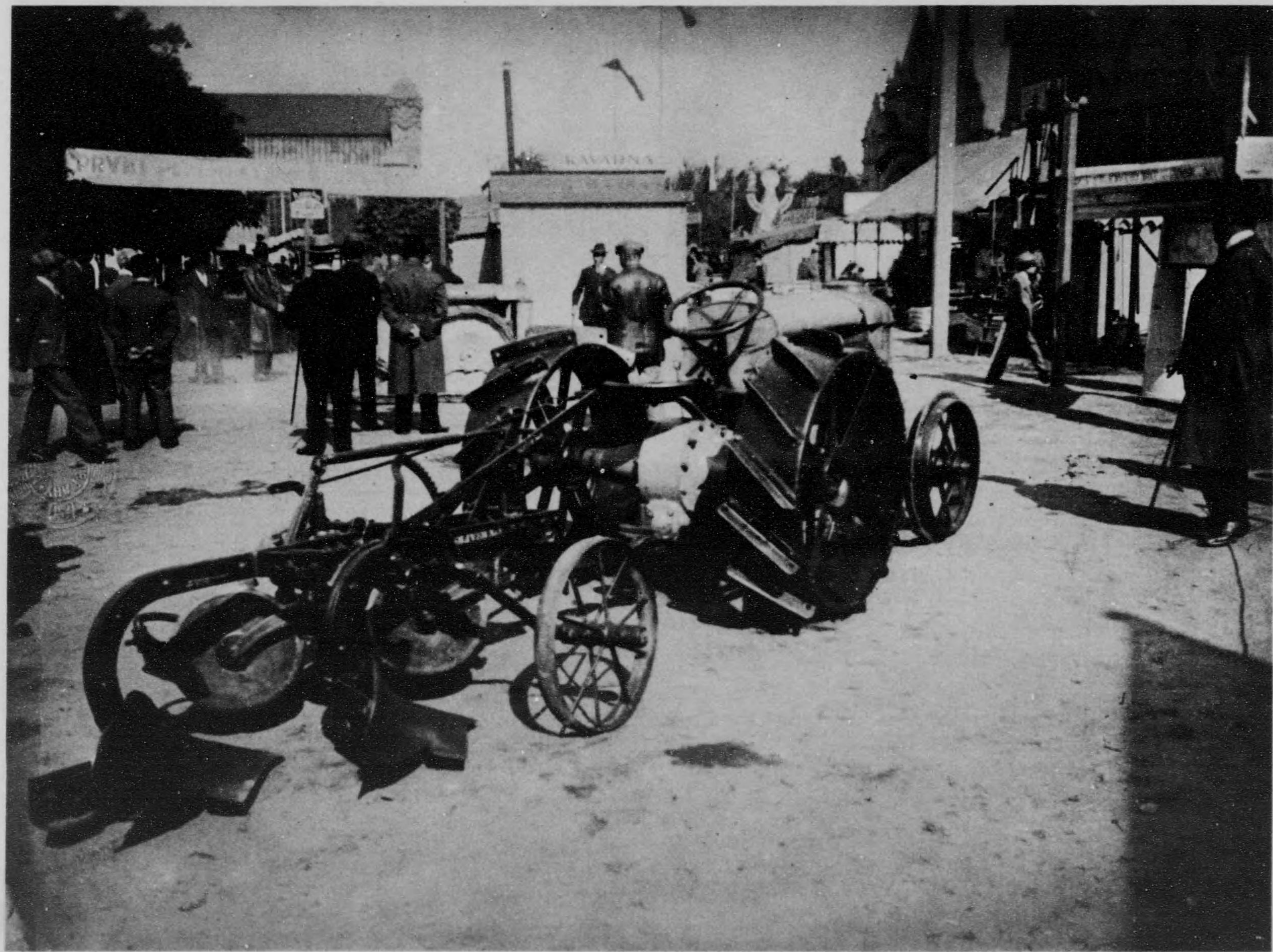
### チエツクの農具

76

チエツクは農業國だけあつてその首府ブラーグの秋の見本市などに出品せられた農具の種類は其道の人々にとっては非常に興味ある参考資料となつた。此寫眞は其一つであつて、此國の農家で用ゐられて居る發動機付きの耕具である。

Ein Ackergerät welches bei der Prager Herbstmesse  
ausgestellt wurde.







ブラークに於ける帝國公使館

77

チェッコ、スロヴァキア國の首府ブラーグ市に於ける帝國公使館で、前に立てるは館員兼子氏である。

*Die kaiserliche Japanische Botschaftamt zu Praha, Czechoslovakei.*







## ウキーンの市街

78

維納の市街はロンドン、巴里の如き雄大さは求められないが、然しこれ等の都市の及ばない古雅優美な都會で、建物や橋梁などもどこもなく垢ぬけがして居るやうに感じられる。此寫眞は市内を貫流するドナウの支流に架せられた橋で、そのたもとには果物を賣る爺さんと、駄菓子やの婆さんを見かける。

*La ville de Vienne et un joli pont bâti à travers le canal de*

*Danube. Une boutique de marchand de fruits au bout du pont.*









## ウキーン大學

79

ウキーンの市中を大きな輪を書いて廻る Ring 街の一部の議事堂市廳ブルグ  
テアーテルなどのある Ring des 12 November なる大きな街路に面して自由の  
廣場 (Freiheits Platz) の角に聳ゆるルネッサンス式の大建築物がウキーン大學  
である。寫眞は街路に面した玄関及び男女の學生である。

An der Ecke des Ring des 12 November, Wien erblickt man  
ein grossartiges Gebäude von italienischen Renaissancestil.  
Das ist die neue Universität zu Wien. Dieses Bild zeigt die  
Loggia des Gebäudes.







### 維納シエーンブルンの庭園

80

此所は元奥國皇帝の離宮であつたシエーンブルンの庭園である。その離宮は十八世記の中葉かの有名なオースタラー繼承戦役の原因を作つた女帝マリア・テレサの時代に完成されたもので、林苑の壯美は佛のヴェルサイユ宮殿にも劣らない。廣大な庭園の一角に聳立する寫眞の如き高樓から展望すればウイン全市を一望の中に收める事が出来る。壯麗な離宮は此の女皇の在りし日を偲ばせるに十分であるが現今は一種の博物館扱ひにされて居るのを見るにつけても大戦前の奥大帝國のすばらしい勢も顧みられて轉た今昔の感に堪えない。走馬燈の如き歐洲の舞臺は此處にも展開されて居る。

Schönbrunn, das ehemalige kaiserliche Lustschloss in der Vorstadt Wiens.

Der reizende Garten, welche im französischen Stil schön angelegt ist, hat die weithin sichtbare Gloriette, von deren Plattform kann man eine schöne Ansicht auf die ganzen Stadt genießen.



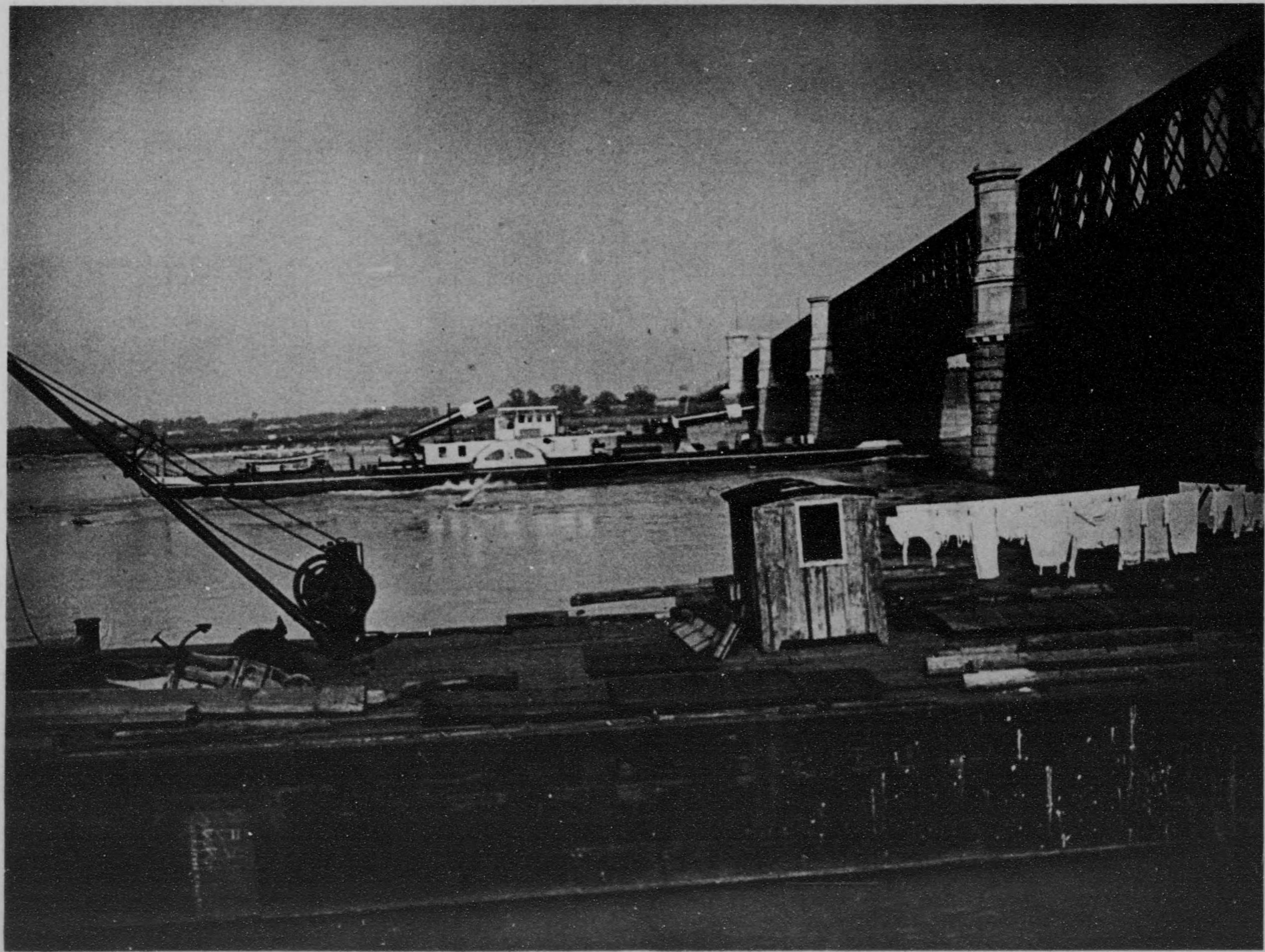
## ドナウの流れ

81

ドナウの本流は維納市の東北をかすめて遠く奥匈の平野を貫流する。水深く幅廣く大小の汽船が不斷に輻湊して居る。寫眞はドナウに架せられた *Reichsbrücke* であつて市内の橋梁のやうに雅致ある彫刻などは見られないが大きくて頑丈である事は我が鴨綠江の鐵橋に比すべきである。ブタペストへ向ふドナウ下りの汽船も此所から出るのである。

*Der Donauström und die Reichsbrücke. Die Dampfschiffe auf  
der Donau von Wien nach Linz, Passau, Budapest, Belgrad  
usw. werden hier bestiegen.*







## 人々なつかしむ雀(二)

82

歐洲の人々には動物愛護の精神が十分に涵養されて居る事は別項でも説いた通りで、動物の方でも心を安んじて人々に近づいて来る。

晝時の公園のベンチは携帯のパンで簡単に晝食をすませる人々で充たされるが、それ等の人々の前には寫眞のやうに喰べ残りのパン切れを求めて足下近く集まる雀の群を見るのが常である。

此寫眞は維納市の高等工業學校近くカールブラッツの公園に憩ふ人々とパンを求むる雀の群れである。

*Dans un parc de Vienne.*

*De paisibles viennois et devant eux un groupe de moineaux.*







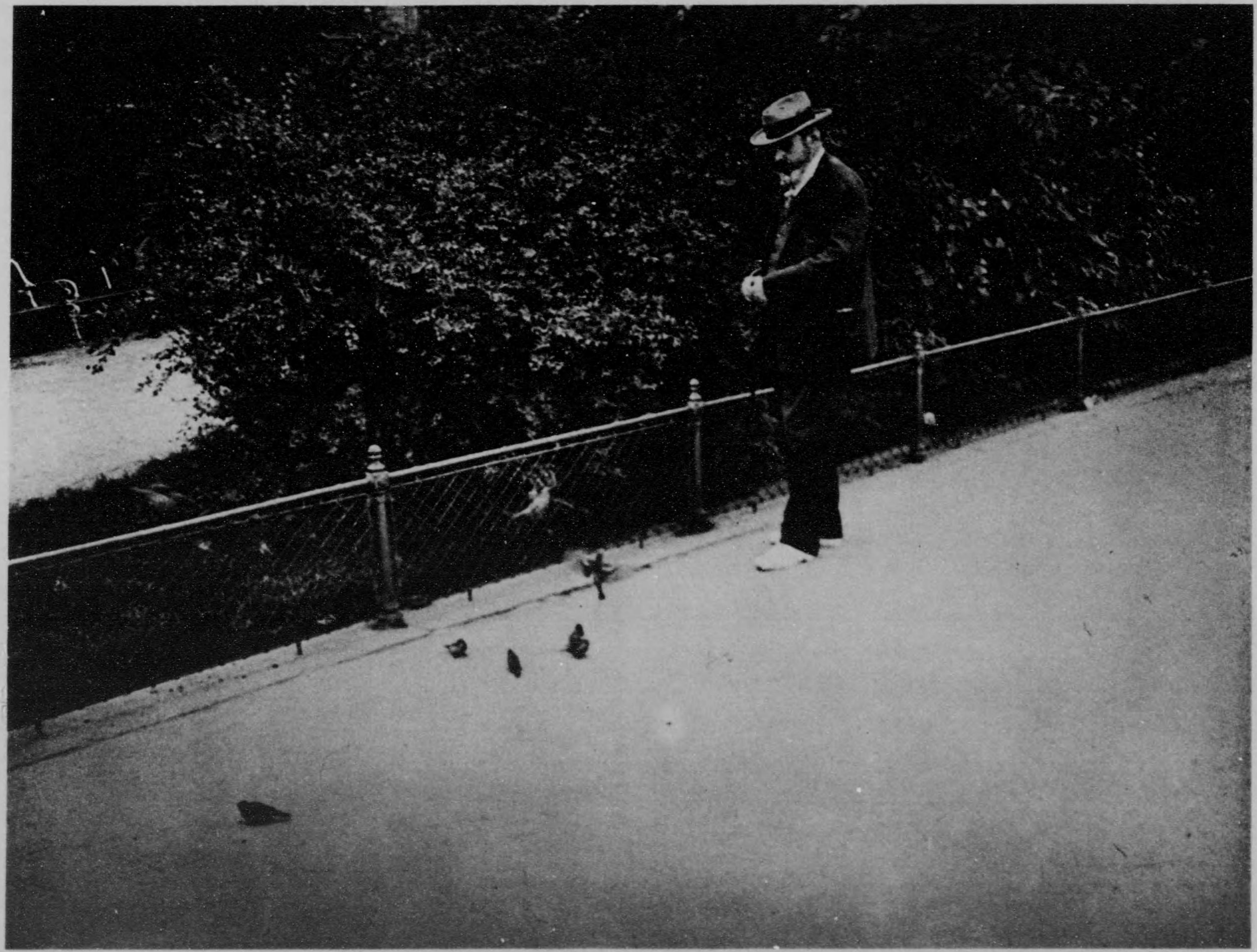
人々なつかしむ雀(三)

83

維納市の Donau Canal に面した Franz Josefs Qui の公園で雀にたわむれる老人である。此老人は些さか曲藝がかつた事を雀にやらして居る。投げたパンの小片れを中空で雀に飛びつかせると云ふ藝當である。

Un vieillard qui s'amuse avec des moineaux. Dans le parc de  
Quai de Francois-Joseph en face du canal de Danube de Vienne.







## 引越車

84

歐洲の都市を訪ふものは寫真に見るやうな大きな車を嚴めしい金具で飾つた大きな馬に曳かせて行くのを見かけるであらう。それは引越車であつて、その大きさと形とはボギー貨物車そのまゝである。時にはそれを二ツ三ツ連結して自動車でひくのを見る事もある。貨物列車と少しも違はない。建物も大きく、道幅も廣い彼地の街路には此尤大な車も決して不調和ではない。その車の内部は器具の衝突破損を防ぐため蒲團張りとなつて居て、ピアノ、洋服箆司、大きな本箱、其他家具類は荷造りする事なくそのまゝ入れてしまへる。そして馬或は自動車で停車場へ運び車を取り換へてそのまゝ鐵道の貨物車として他驛へ運搬する。

寫真はウキーン市の或る齒醫者の引越である。

*Ein grosses Umzugswagen auf einer Strasse von Wien.*





ZAHNARZT

JOS. J. LEINKAUF A. G.

ÜBERSIEDLUNGEN INTERNATIONALE TRANSPORTE DEMENAGEMENTS  
WIEN I. HELFERSTORFERSTRASSE 9.

RO



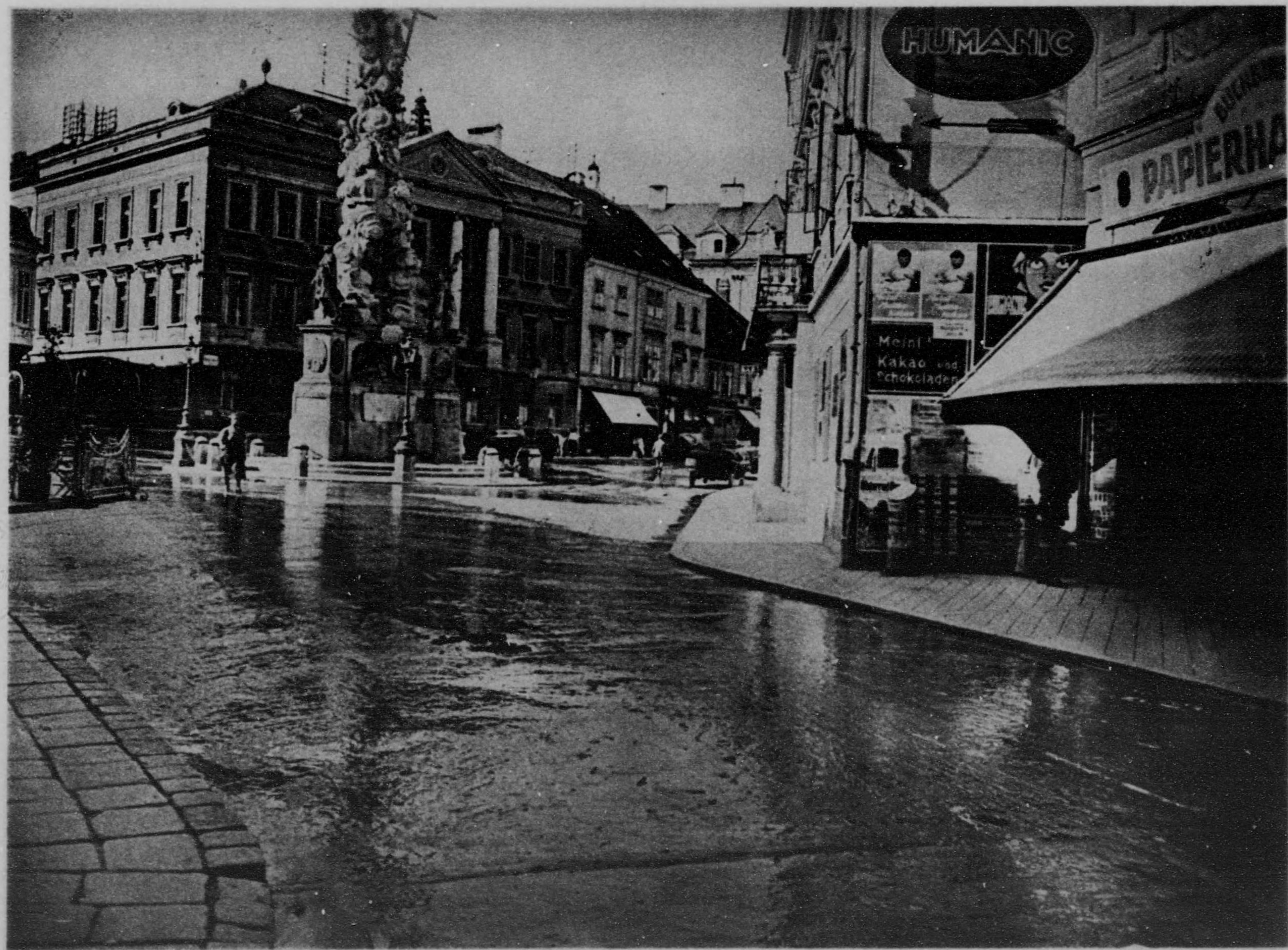
## バーデンの町

85

奥國の首都ウキーン市の南方二十五キロの所にバーデンと云ふ小さな町がある。硫黄鑛泉で相當知られて居る所で夏になるとウキーンの人達の避暑地となる。寫眞は其町の中央にある廣場で、此場所から先きに約一丁程行つた所に Hotel Herzoghof と云ふ旅館がある。女流ビヤニスト久野久子女史は其所で客死したのであつて飛び落ちた物置の屋根が破損したまゝ、残つて居て痛ましい彼女の最後を物語つて居る。ツェトーベンの作品を得意として居た女史が此大音楽家の故郷に於て遂に身を殺したと云ふ事は藝術に生きんとする彼女の心事も偲ばれて萬斛の涙を禁じ得ない。

Baden, alter berühmter Badeort 25 Km. südlich von Wien  
mit heilkräftigen Schwefelthermen, ist ein Lieblings-Sommer-  
aufenthaltort der Wiener.







## ブタペストの市街

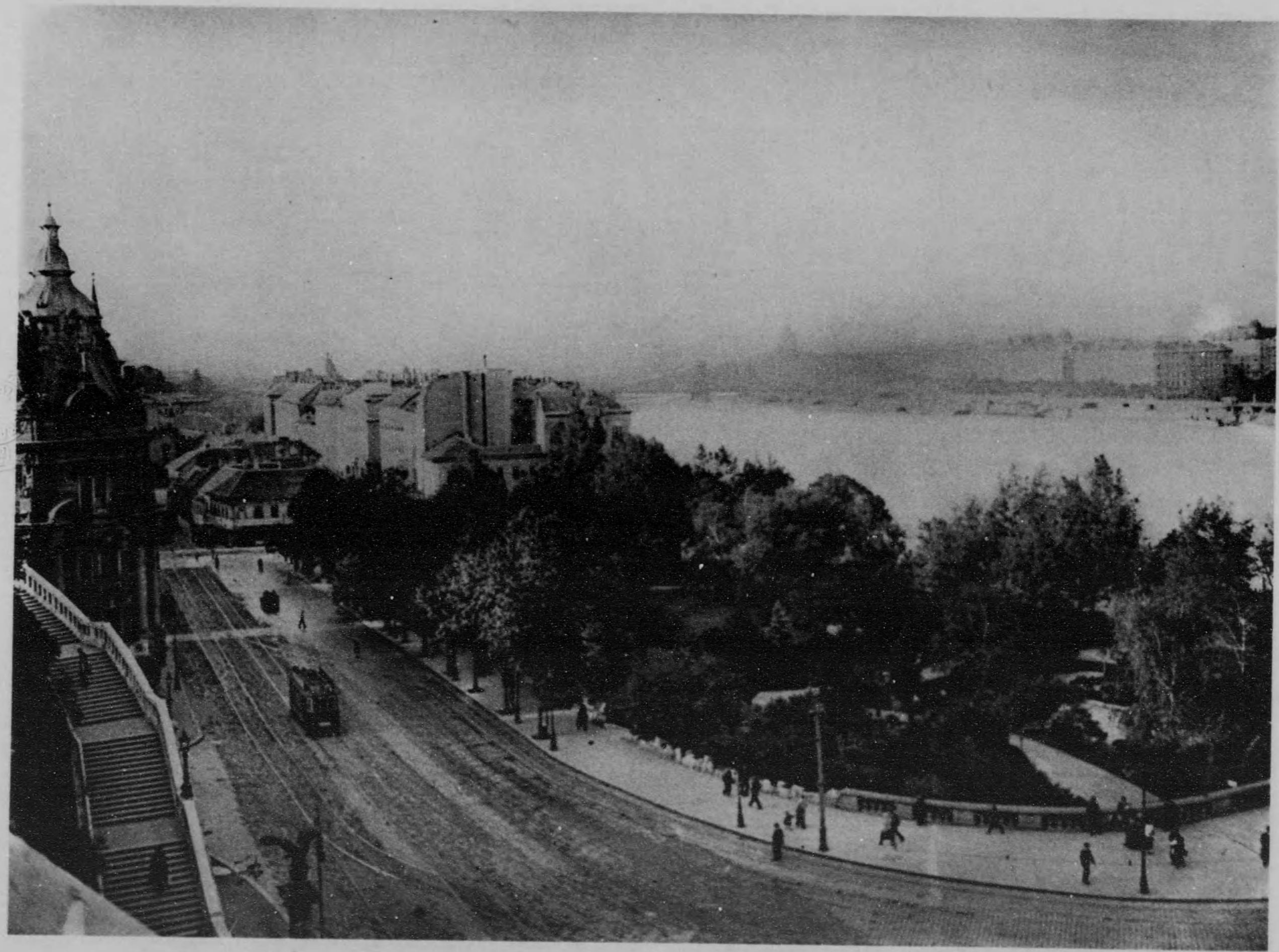
86

此處は匈牙利國の首都ブタペストである。洋々たるドナウの流れは市の中央を貫いて遠く黒海に注いで居る。右岸には歴史的に有名なブタの市街、左岸には商工業地たるペストの市街がある。兩市合せて八十八萬の人口を有し、バルガン地方最も重要な都市となつて居る。  
寫眞はブタの市街のゲラートの高地より眺めた光景。

Budapest, gesehen von der Höhe Gellért.

Budapest ist die Hauptstadt des Königreichs Ungarn, mit  
880000 Einwohnern, liegt an beiden Ufern der Donau; am  
linken Ufer liegt der grössere und wichtigere Teil Pest; am  
rechten Ufer der historisch bedeutende Teil Buda.







## 匈牙利の娘

87

此處はブタペスト市の東停車場に近い Rákóczi 氏の街路で、日曜日の商店は皆店を閉ちて街も静かである。打鳴らす寺院の鐘は澄みわたった秋の天空にひびいて一しほ静寂を感じる。こうした安息日のブタペストの市街には圖に見る様な純匈牙利式に着飾った娘が歩いて居るのを見る。これは恐らく寺院に日曜日の祈を捧ぐる娘の一團であらう。赤味の勝ったエプロンをかいた頬かぶり姿は奇異な恰好である。白地に赤の豆しぼりや、燃ゆるが如き真紅な頬かぶりの下から光る黒い藪尻みは少々凄味がある。

Vier ungarische Mädchen auf der Strasse "Rákóczi" nahe vom  
Ostbahnhof, Budapest. Sie bekleiden echt ungarisch.







## 匈牙利の子供

88

これは匈牙利ブタベスト市の小學校生徒の一團を撮したものであるが、同じ歐洲の子供でも匈牙利になると餘程趣きが異なつて居る。此地方は成吉思汗の昔を偲ぶ國で、マジヤール民族は蒙古人の血を嗣けて顔や瞳にもアジアの色が窺はれる。世界大戰に獨乙の傀儡となつて立つた匈國は最も勇敢に戦つた。然し敗殘の國として彼のトリヤノン條約で最も非道い目に會はされてしまつた。領土は分割せられ、匈牙利人は狭い國內へ追ひ込められ、チエツク、ルーマニヤ、ユーゴスラビヤの對匈攻守同盟の中に孤立した四面楚歌の中に復仇の日を待つて居る。『戦後に出來た歐洲の新地圖はやがて我等の血を以て塗り變へねばならない』と云ふ事は此國の學校教育の眞髓となつて居る。多事なる匈牙利の將來は懸つて此等兒童の双肩にある。

Ungarische Knaben und Mädchen auf einer Strasse von  
Budapest.









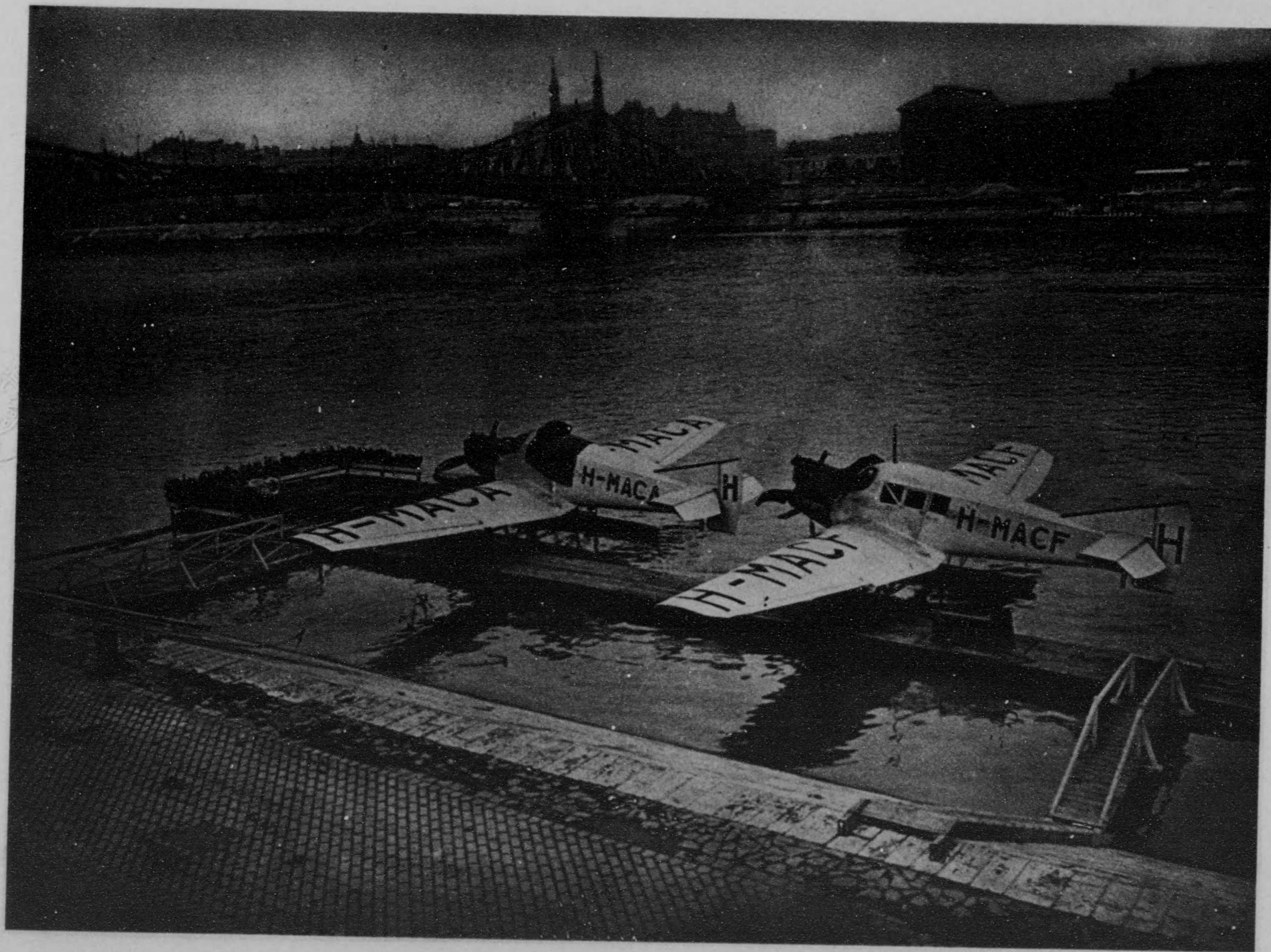
### ドナウの水上飛行機

89

水深く、河幅廣きドナウ河は大小の汽船でオースタリー、ハンガリー、ルーマニヤ、ユーゴスラビヤの諸國を連ぬるばかりでなく、水上飛行機で沿岸都市を連絡する。寫眞のユンケル型水上機はブタベスト市のホテルゲラートの前の水上に浮んで居てユーゴスラビヤの首府ベルグラード、ルーマニヤの首都ブカレスト、遠くはトルコのコンスタンチノーブルまで旅客の運搬をする。毎朝七時には此の水上を爆音勇ましく此等の都市に向つて飛行する。

Zwei ungarische Flugzeuge auf der Donau, Budapest. Die Luftverkehrs-A.G. unterhält tägliche Flugdienst von Budapest nach Wien, Belgrad, Bukarest Konstantinopel usw. mit diesen Flugzeugen.









ドナウの河蒸汽

90

此寫眞は匈牙利の首都ブタペスト市を貫流するダニupp河上を往復する小  
蒸氣船で、東京隅田川の一錢蒸氣に相當したものと思へば間違ひはない。  
左方の橋はブタの Gellert 山下に達する Ferencz Jozsef 橋である。

Ein kleine Schraubendampfer der Königl. Ungarischen Fluss-  
und Seeschiffahrts-A.G. Budapest.

Zwischen dem linken (Pest) und rechten Ufer (Buda) der Donau  
verkehren solche Dampfer.







### チューリヒの市街

91

寫眞は瑞西チューリヒの市街である。山水明媚な此地には有名な大學があつて日本の留學生も常に二十名位は居る。天然の美に恵まれた此國は何を見ても清麗で、瑞西でなくては味へない美しさである。青と白とで奇麗に塗り上げた電車までが此國にふさわしい明るさを感じしめる。

*La ville du Zurich au voisinage de la gare.*







チューリッヒの街(二)

92

チューリッヒの湖に面した此市街は四季を通じて各國からの遊覽客が絶えない。此市は巴里、伯林と云つた様な雄大な氣分は見られないけれども、遊覽地式の小綺麗な市街である。寫眞はチューリッヒ湖畔の街路で、湖水に面したこうした建物は皆遊覽客相手のホテルである。

*Une avenue qui longe le bord du lac de Zürich.*







ルツェルンの盛り場まで

93

寫眞は瑞西のルツェルン市の盛り場にかけてられた興業物であつて、此小屋掛けには機械で動くブランコの幾つかが釣り下げられてあつて、肥つた大きな爺さんの入釜しく打出す半鐘の音につれて圖の様に動くのである。まことに危険な殺風景な興業物であるが、此様な事を通じても彼地の人々の趣味が窺はれる。

*Des spectacles dans un coin culminant de Lucern, Suisse.*







## 風船賣

94

子供目當ての物賣りが盛り場に出る事は何この國も同じである。賣る品々は瓦斯入りの風船や、旗、風車などで、日本ならば日の丸の旗を並べてあるが、此所では瑞西だけに赤地に白十字の國旗を置いてある。國は異つても人々のする事は大抵似たやうなものである。

これは瑞西ルツェルン市の盛り場にて風船を賣る爺さんである。

*Un vieillard qui vend des ballons dans la foire de Luzern,  
Suisse.*







メリーゴーラウンド (二)

95

此メリーゴーラウンドは瑞西ルツェルン市の或る盛り場に掛けられたもので丁度浅草の花屋敷にあつたものによく似て居るがそれに比して一層器用に出來て居る。疊めば一纏めとなつて貨物列車のやうな車に入つてしまふやうな組立式になつて居ることはミュンヘンの寫真で説明した通りである。圖の様に子供を乗せて、自働オーケストラの奏する曲面白き樂の音に伴れて廻轉する。

*Le merry-go-round dans le foire de Lucern.*









ロンドンの子供(二)

96

ロンドンの茶目公二人を御紹介する。二人とも小學校通ひの服装であつて  
彼地では何れも寫眞の如き烏打帽に學校の徽章をつけて居る。如何にも茶  
目らしい顔をして居るではないか。

Two primary-school boys of London.







母と子

97

ロンドンの子供が母に連れられて外出する時の有様で此土地では寫眞のやうに革のバンドで子供を牽いて歩くのを見かける。街路の危険が斯くの如き考案を生んだので、安全な點に於ては申分はないが大汲ひにするところに少しく面白味がある。

*A mother and her child at the Victoria Station, London.*



